

鳥取県鳥取市玉津地区における外来魚駆除

福本一彦（鳥取県生物学会）・和口民二・近藤一彦（玉津自治会）・前田浩行・山川渉（緑豊かな自然課）

鳥取県鳥取市玉津自治会では、管理する3つのため池（上流から本谷池、新城寺池、醍醐池）を対象に、外来魚駆除を目的として2008年から毎年秋に池干し等を実施されている。

各池では、池干し後もオオクチバスが確認されていたが、2016年秋に池への進入路にイノシシ被害防止柵が設置されたことを契機に、進入路の上流に位置する本谷池、新城寺池では、その後オオクチバスが確認されなくなった（表1）。

一方、道路に面してアクセスが制限できない最下流に位置する醍醐池では、池干し後もオオクチバスが確認されていたが、2022年の池干しでは確認されず（表1）、取組開始から14年を要して、管理する3つのため池での外来魚完全駆除が達成されたものと推定された。

表1 玉津自治会が管理する3つのため池におけるオオクチバス採捕数の推移

池/年	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
本谷池	1102	—	—	1	—	—	468	—	—	0	—	—	0	—	—
新城寺池	—	—	—	—	980	—	—	568	—	—	0	—	—	0	—
醍醐池	—	1333	40 ^{※1}	—	—	801	—	—	436 ^{※2}	—	—	2	—	—	0

※1 電気ショックボートによる捕獲数。2009、2013、2016、2019年は池干しによる採捕数。

※2 2016年の採捕数は池干し当日のみの採捕数。この他、水位を落としていく過程でコンテナ1杯分のオオクチバスが採捕された（玉津区長への聞き取り）。